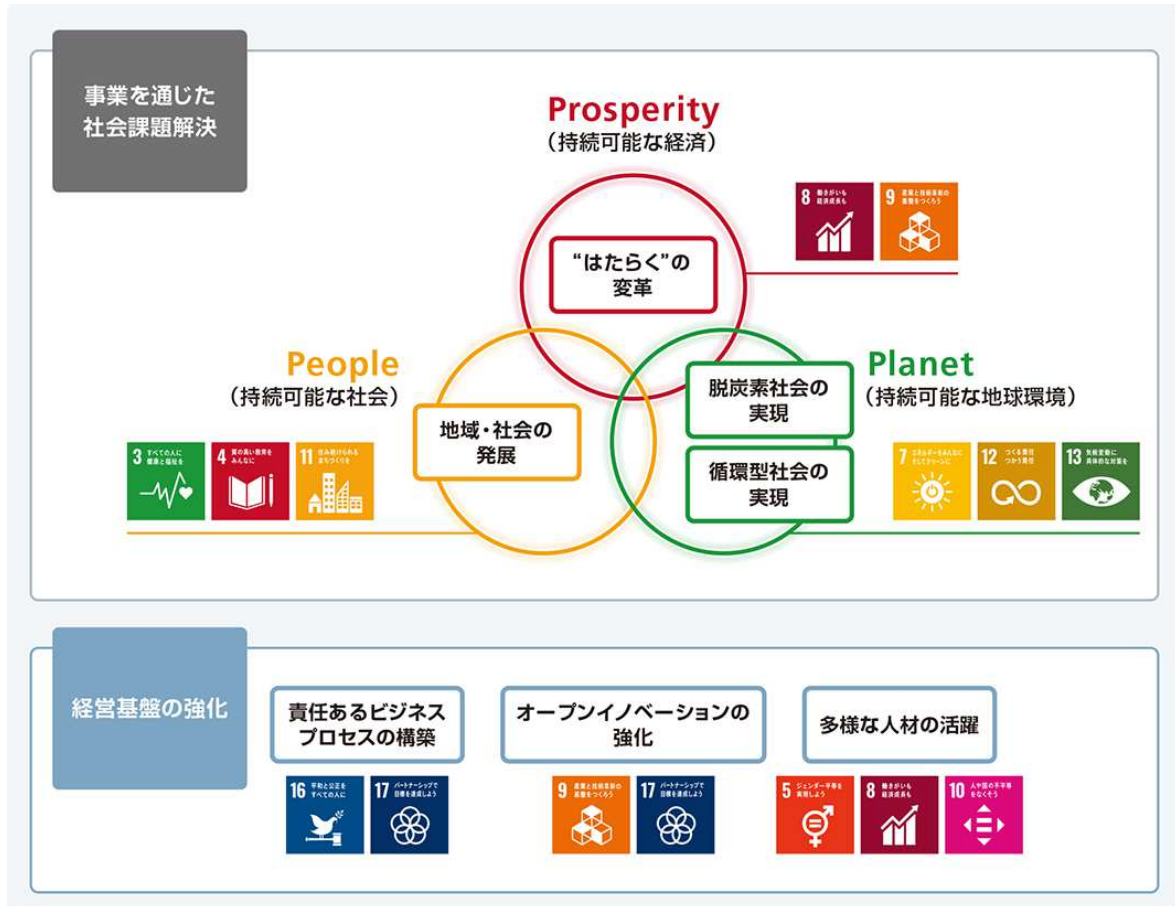


2023 年度から 2025 年度の活動計画

リコーグループでは、「事業を通じた社会課題解決」とそれを支える「経営基盤の強化」の 2 つの領域で 7 つのマテリアリティを特定するとともに、各マテリアリティに紐づく ESG 目標を設定しています。PFU では、リコーグループ ESG 目標と整合した ESG 目標を設定しています。

リコーグループの 7 つのマテリアリティ



【戦略的意義】

事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の変革 Creativity from Work	人とデジタルの力で、はたらく人やはたらく場をつなぎ、お客様の“はたらく”を変革するデジタルサービスを提供し、生産性向上・価値創造を支援する。
	地域・社会の発展 Community and Social Development	技術 × 顧客接点力で、地域・社会システムの維持発展、効率化に貢献し、価値提供領域を拡大する。
	脱炭素社会の実現 Zero-Carbon Society	バリューチェーン全体の脱炭素化に取り組み、カーボンニュートラルへの貢献を通じたビジネス機会を創出する。
	循環型社会の実現 Circular Economy	自社および顧客のサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル構築によりビジネス機会を創出する。
経営基盤の強化	責任あるビジネスプロセスの構築 Responsible Business Process	サプライチェーン全体を俯瞰してビジネスプロセスの ESG リスク最小化を図り、ステークホルダーの信頼を獲得する。
	オープンイノベーションの強化 Open Innovation	社会課題解決型の事業を迅速に生み出すために、自前主義を脱却し新たな価値創出プロセスへの転換を図る。
	多様な人材の活躍 Diverse and Inclusive Workforce	多様な人材がポテンシャルを発揮できる企業文化を育み、変化に強い社員・会社へと変革する。

PFU ESG 目標

2024 年度は、マテリアリティ「“はたらく”の変革」「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「責任あるビジネスプロセスの構築」「多様な人材の活躍」に係る ESG 目標の達成に取り組みました。

マテリアリティ		ESG 指標		2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 目標		
事業を通じた社会課題解決	“はたらく” の変革	高い付加価値でお客様の業務効率化に貢献するハイ エンドスキャナーの販売台数 (fi シリーズ：グローバル販売台数)			 	369,824 台	327,204 台	360,000 台
	脱炭素社会 の実現	GHG 排出量 Scope1,2 削減率 (2015 年度比)			 	5,126t-CO ₂ (41.4%減)	2,059t-CO ₂ (76.5%減)	2,076t-CO ₂ (76.3%減)
		GHG 排出量 Scope3 削減 率  	国際エネルギースター プログラム適合	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	適合 100% (1 機種)	100%	
			米国 EPEAT 取得 対応	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	適合 100% (1 機種)	100%	
			製品環境性能指数	組込みコンピューティング製品	4.01	3.82	—	
				情報 KIOSK 端末	14.36	11.276	10.46 以下	
				ネットワークアライアンス製 品	0.537	0.555	0.611 以下	
				セキュリティ製品	0.256	0.254	0.252 以下	
		製品導入による 顧客先環境貢献量	組込みコンピューティング製品	9,465t-CO ₂	10,598t-CO ₂	—		
			情報 KIOSK 端末	1,732t-CO ₂	1,367t-CO ₂	762t-CO ₂		
			ネットワークアライアンス製品	339.6t-CO ₂	340.8t-CO ₂	294.1t-CO ₂		
			セキュリティ製品	660.3t-CO ₂	652.71t-CO ₂	633.0t-CO ₂		
		環境配慮ソリューション による顧客先環境貢 献	ドキュメント	1295.1t-CO ₂	1,093.6t-CO ₂	677.6t-CO ₂		
	ソリューション		5,977t-CO ₂	6,108.1t-CO ₂	4,126t-CO ₂			
循環型社会 の実現 	製品の新規資源 使用率	新規資源使用率	スキャナー製品	95.6%	95.3%	93.9%		
		化石資源由来バージ ンプラスチックの包装材 削減率 (2020 年度比)	スキャナー/キーボード製品	22.5%減	31.0%減	14.5%減		
経営基盤の強化	責任ある ビジネスプロセ スの構築	CHRB スコア ICT セクター評価	RBA-SAQ スコア  		89.6%	91.9%	85%	
	多様な人材 の活躍	エンゲージメントスコア  			3.57	3.67	3.74	
		女性管理職比率  			8.4%	8.6%	8.5%	

カーボンニュートラル

リコグループ環境目標に基づいて、2050 年度に GHG 排出ネットゼロを目指します。2040 年目標は、Scope1,2 において GHG 実質排出ゼロ、事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー比率 100%としています。

■ Scope1、Scope2 の取組み

継続した省エネを推進しながら、再生可能エネルギーの導入も進めます。

PFU では、地球の気温上昇を 1.5℃未満に抑える水準と整合した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ Scope3 の取組み

調達・輸送・使用など事業活動の上流から下流までを含めたサプライチェーン全体での CO₂ 排出量削減が求められています。

PFU では、排出比率の大きい「購入した製品・サービス（カテゴリ-1）」、「輸送、配送（上流）（カテゴリ-4）」、「販売した製品の使用（カテゴリ-11）」の 3 つのカテゴリに注目した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ 再生可能エネルギー普及拡大への取組み

PFU では、RE100(注 1)に参加しているリコグループの一員として社会全体の再生可能エネルギーの普及拡大に貢献しています。2024 年度の再生可能エネルギー由来の電力量は 7,524MWh です。

2024 年 4 月より本社及び ProDeS センターでは、リコジャパン株式会社が供給する再生可能エネルギー 100%の電力を使用しています。

(注 1)RE100 は、The Climate Group が CDP とのパートナーシップのもとで主催しています。日本では 2017 年 4 月より日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) が地域パートナーとして、日本企業の参加を支援しています。



再エネ電力供給証明書

リコグループ脱炭素目標

	2030 年度目標	2040 年度目標	2050 年度
Scope1、Scope2	2015 年度比 63%削減	GHG 実質排出ゼロ	GHG 排出ネットゼロ
Scope3	2015 年度比 40%削減 (調達・輸送・使用カテゴリ)	2015 年度比 65%削減 (全カテゴリ)	
再生可能エネルギー比率	50%	100%	———

■ ゼロカーボンシティかほく推進パートナー登録

かほく市が推進するゼロカーボンシティかほくの実現に向けた取り組みに参加し、2024 年 2 月 25 日に「ゼロカーボンシティかほく推進パートナー」に登録されました。本登録制度は、かほく市と連携しながら、脱炭素社会の実現を目指す事業者をパートナーとして認定するものです。

今後も、地域との共創により環境負荷低減と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。



推進パートナー登録証